

平成 29 年度文部科学省委託「幼稚園の人材確保支援事業」

「幼稚園の人材確保支援事業調査研究報告書」

東京都私立幼稚園連合会  
(平成 30 年 3 月)

## 目次

第1章 調査研究の概要	
1-1. 幼稚園における人材確保の現状	2
1-2. 幼稚園における人材確保の必要性	2
1-3. 調査研究の内容	2
第2章 調査研究内容	
2-1. 合同就職説明会（幼稚園フェア）における参加者アンケート調査	3
2-2. 第1回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会における意見交換会	3
2-3. 幼稚園就職のための冊子作成に向けた事前調査	3
2-4. 第2回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会におけるアンケート調査	3
2-5. Web活用における調査	4
第3章 調査分析	
3-1. 合同就職説明会（幼稚園フェア）のアンケート分析	6
3-2. 幼稚園就職のための冊子作成の内容	9
3-3. 第2回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会でのアンケート分析	9
3-4. Web活用における調査	10
第4章 結果の考察	
4-1. 合同就職説明会（幼稚園フェア）における成果と課題	12
4-2. 第1回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会における意見交換会のまとめ	13
4-3. 幼稚園就職のための冊子作成の配布効果と実績	16
4-4. 第2回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会の成果	17
4-5. Web活用の成果	17
調査研究を終えて	20

## 第1章 調査研究の概要

### 1-1. 幼稚園における人材確保の現状

少子高齢化社会によって労働人口が減少し、社会的な人材不足は例外なく幼稚園業界にも多大な影響を与え、新規幼稚園教諭の採用は困難を極める状況にある。公教育である幼稚園の経営はその根幹から揺さぶられていると言えよう。しかしながら、社会における女性の雇用促進が長時間保育の需要を高め、待機児童解消の名のもとに社会福祉法人や株式会社、NPO 法人等が設置する保育所が激増した影響もあり、幼稚園の人材確保はさらに難しい状況にある。近年、教員養成校では学生が幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を取得することが通例となっているため、幼稚園、保育所、一般企業と就職先の選択肢が増えていくことも大きな要因となっている。さらに、保育士の処遇改善や家賃補助といった手厚い助成制度や、株式会社による保育所の人材獲得活動に企業資本が投入されている現状が追い打ちをかけている。幼稚園団体としては、これまでも「合同就職説明会（幼稚園フェア）」や「教員養成校との交流会」といったイベントを通じて幼稚園教諭を目指す学生へ働きかけをしてきたが、保育士ブームともいえる需要増と企業の人材獲得手法の前に、幼稚園教諭という職種の認知拡大を図ることが困難になってきている。

### 1-2. 幼稚園における人材確保の必要性

東京都における小学校就学児童の半数以上は私立幼稚園を修了しており、経済的負担を抱えながら、乳幼児期の子育てを自らで行おうとしている多くの保護者が私立幼稚園の教育を選択している現状を鑑みても、この保護者の負託に応えるために教職員の確保は必要不可欠である。全国最多、800箇園の私立幼稚園を有する東京都において、公教育を担う私立幼稚園が今後も社会的責任を果たしていくためには、安定的かつ持続的な人材確保のための事業計画策定と実施が急務となる。

### 1-3. 調査研究の内容

東京都私立幼稚園連合会では、「新規採用の促進」を調査研究テーマの柱として調査研究実行委員会を設置し、新規採用が困難となっている社会的背景と就職活動における学生の意志決定に影響を及ぼす要因、就職先決定にいたるプロセス、就職活動に利用する媒体等を調査し、新規採用促進のために有効な手だての検証・実施を行う。様々な事業体が保育所運営に参入し、需要増が続いている保育士との比較の観点もふまえ、幼稚園教諭という仕事のやりがいや、魅力の積極的な情報発信がポイントと考える。著しく普及しているソーシャルメディア等の媒体活用や合同就職説明会の開催、養成校担当者との意見交換・交流会開催、就職者アンケートの実施等を通して、幼稚園就職意志決定への影響を調査する。

## 第2章 調査研究内容

### 2-1. 合同就職説明会（幼稚園フェア）における参加者アンケート調査

第1回調査研究実行委員会（平成29年4月21日）において、幼稚園就職希望者の実態を把握するために、本連合会で開催する「合同就職説明会（幼稚園フェア）」で幼稚園の就職希望者に対するアンケート調査を行うと同時に、今後の事業に向けて考察を行うことにした。

アンケートの項目については表-1のとおり、調査対象者は合同就職説明会（幼稚園フェア）の参加者。

### 2-2. 第1回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会における意見交換会

第2回調査研究実行委員会（平成29年5月30日）において、合同就職説明会（幼稚園フェア）において実施したアンケート調査から「養成校担当者との交流」の際に、幼稚園就職希望者の就職動向をより明確に把握することが必要との認識が示された。これを受けて、第1回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会（平成29年6月5日）の際に、養成校担当者との意見交換を行い、学生の動向について調査を行うこととした。養成校担当者と幼稚園関係者をグループに分けて意見交換を行い、実習、教員採用、園見学の受け入れ、採用面接のあり方及び採用方法等の実情や就職希望者が持っているイメージについて意見をとりまとめることにした。

### 2-3. 幼稚園就職のための冊子作成に向けた事前調査

第1回調査研究実行委員会において、学生の興味を抱く情報媒体のひとつとして、フリーペーパー（無料冊子）の配布が挙げられた。各養成校のキャリアセンターにおいても、人材登録派遣業者によるフリーペーパーでの人材確保が行われている。その時代の流れを取り入れ、本連合会においても、幼稚園就職の特色を際立たせたフリーペーパーの作成を行うことで、学生が私立幼稚園の採用に目を向けての就職活動が行われるのではないかと考えた。作成に向けて、第1回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会において行われた「養成校担当者との交流のまとめ」を中心に検証を行い、必要な情報の精査を行うことにした。

### 2-4. 第2回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会におけるアンケート調査

第4回調査研究実行委員会（平成30年1月12日）において、第2回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会（平成30年2月1日）の際に、養成校・幼稚園に対して事前アンケート調査を実施することにした。幼稚園教諭が採用難である現状を踏まえたアンケート内容を検討した。

養成校に対しては、学生の具体的な就職動向の現状、とりわけ幼稚園・保育所・こども園・その他企業等への就職人数の現状を調査。幼稚園に対しては採用した（する予定の）人数、また採用にいたるまでの具体的な経緯について尋ねた。「幼稚園フェア」や「第1回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会」が採用実績に寄与したか、という点についてもアンケートを行うことにした。

## 2-5. Web活用における調査

第1回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会における「養成校担当者との意見交換会」より、昨今の就職活動において、多くの学生がWebやソーシャルメディア等を活用して情報収集をしており、大手企業を中心に企業PRや就職情報の配信によって応募者を獲得する動きが主流になりつつあることが判明した。幼稚園の人材確保においてもWebを効果的に活用し、より多くの学生へ幼稚園教諭という仕事の魅力や就職情報を発信することで応募者の増加・獲得を見込めるとの仮定に基づき本調査を行うことにした。

## ＜幼稚園フェア参加者アンケート＞

この度は「幼稚園フェア」にお越しいただきありがとうございます。  
入場する前にアンケートのご協力をお願いいたします。

Q 1. 該当する部分に○をつけてください

- ①大学 ②短大 ③専門学校 ④既卒

学生： \_\_\_\_\_ 学年（学生の方のみご記入ください）

- ①男性 ②女性

Q 2. お住まいはどちらですか

Q 3. 出身地はどちらですか

Q 4. 就職の際に一人暮らしを希望しますか

- ①はい ②いいえ ③既に一人暮らし ④未定

Q 5. 何を見て幼稚園フェアを知りましたか。○をつけてください（複数回答可）

- ①ホームページ ②Twitter ③Facebook ④メルマガ  
⑤友人・知人からの紹介 ⑥ポスター・チラシ ⑦学校の就職課・キャリアセンター  
⑧Web 広告 ⑨その他

Q 6. 就職活動にどんな媒体を利用していますか（複数回答可）

- ①Facebook ②Twitter ③リクナビ ④マイナビ ⑤学校の就職課  
⑥ハローワーク ⑦その他

Q 7. 希望就職先はどこですか。○をつけてください（複数回答可）

- ①私立幼稚園 ②公立幼稚園 ③保育所 ④認定こども園（私立）  
⑤認定こども園（公立） ⑥小学校 ⑦一般企業 ⑧その他

Q 8. 学生の方にお聞きします。学校から幼稚園フェアのアナウンスがありましたか

- ①はい ②いいえ

Q 9. ご家族の方々は幼稚園に就職を希望することについてどのように思われていますか

- ①賛成している ②賛成していない ③まだ相談していない ④その他

Q 10. 学生の方にお聞きします。いつ頃から就職活動を始めていますか

\_\_\_\_\_ 年生 \_\_\_\_\_ 月頃から

## 第3章 調査分析

### 3-1. 合同就職説明会（幼稚園フェア）のアンケート分析

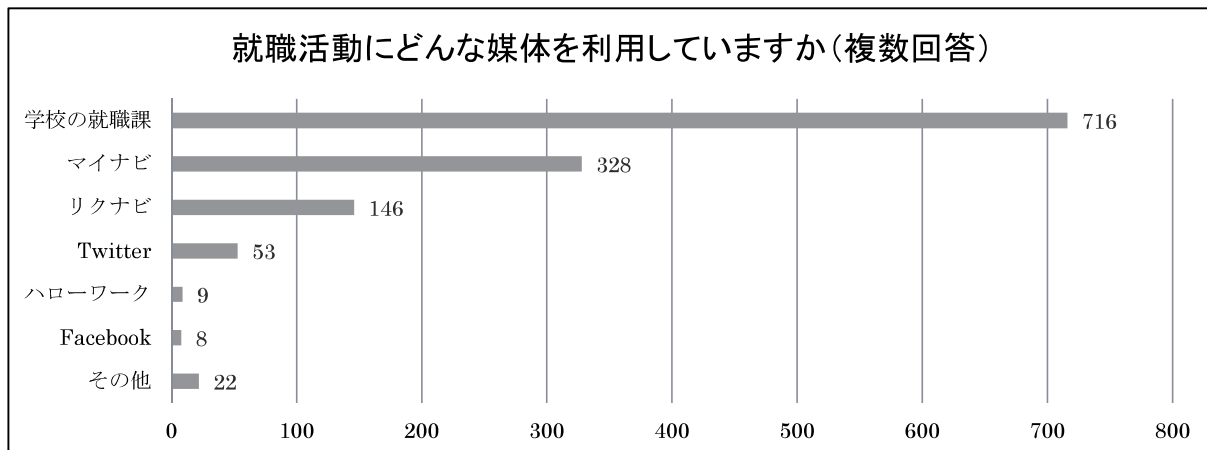
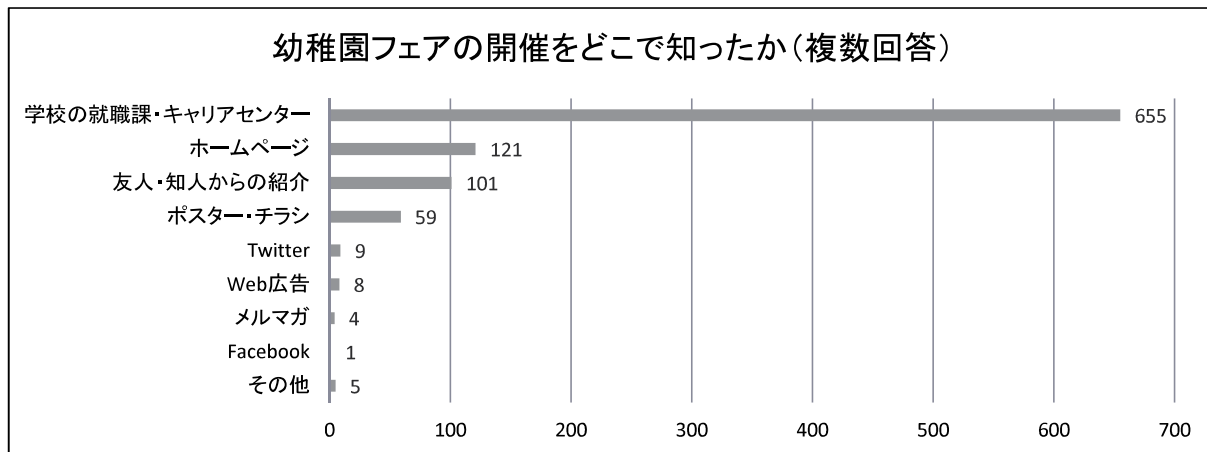
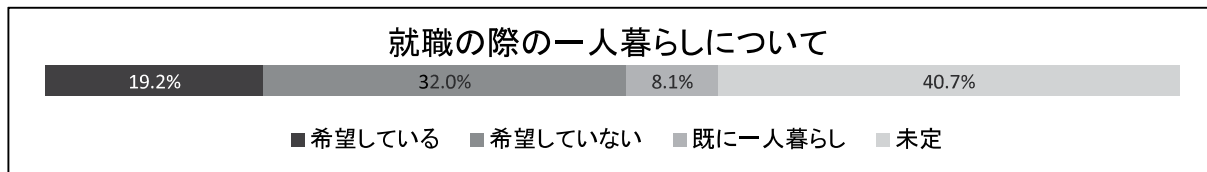
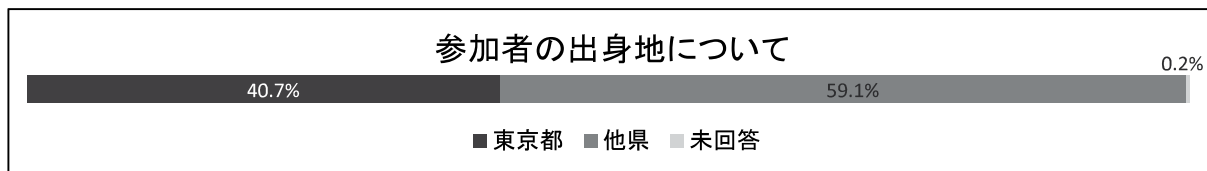
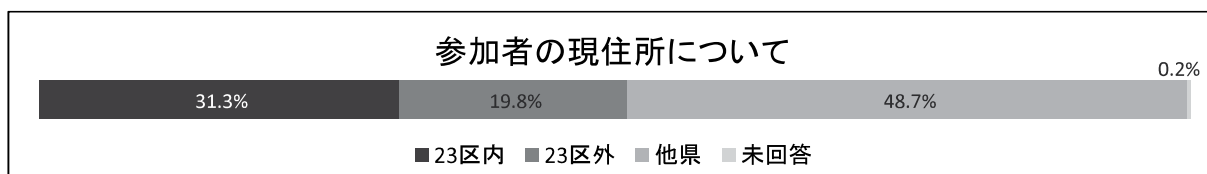
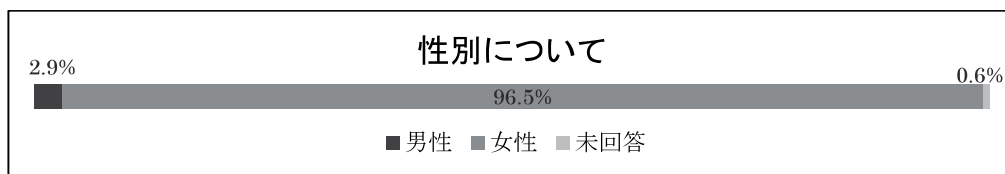
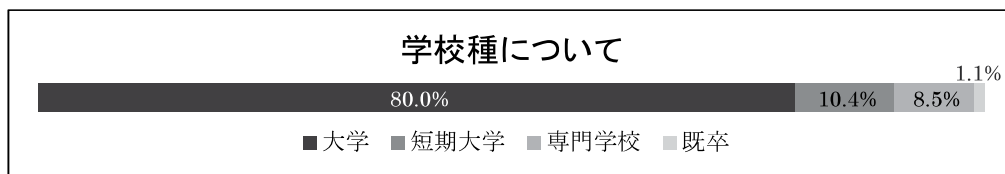
平成29年4月23日に新宿エルタワーで行われた、合同就職説明会（幼稚園フェア）の参加者に対しアンケート調査を実施。838件の回答について分析を行った。

アンケート分析（表-2）

- ・参加の学校種については大学が8割、短期大学と専門学校はそれぞれ1割ずつ。
- ・性別については女性が96.5%、男性2.9%と9割以上が女性の参加となった。
- ・参加者の現住所は都内在住が51.1%と5割、（うち23区内が31.3%で3割、23区外が19.8%で2割）県外が48.7%と約5割。
- ・就職後の一人暮らしを希望するかに対しては19.2%の約2割が就職後の一人暮らしを希望、既に一人暮らしをしている学生と合わせると約3割の学生が一人暮らしを希望している。逆に希望しない人は32.0%の3割。（未定が4割）
- ・幼稚園フェアをどこで知ったかに関しては、655名が学校の就職課、キャリアセンターでの把握と、全体の6割が就職課での把握となった。ついでホームページは121名。知人からの紹介101名、ポスター・チラシは59名、Twitter9名、Web広告8名、メルマガ4名、Facebook1名となんらかのインターネットやSNSでの把握は全体の2割。
- ・就職活動に関しても上記と同様、学校の就職課が716名と圧倒的に多い数字となった。マイナビやリクナビといった大手の就職支援サイトを活用している学生は参加した学生全体の5割弱の回答（マイナビ328名、リクナビ146名）。
- ・希望就職先については716名と7割の学生が私立幼稚園を希望と回答。ついで保育所が328名の4割強。認定こども園（私立）228名の2割、公立幼稚園188名の「2割弱」という数字となった。私立幼稚園のフェアに参加しつつ4割の学生が保育所を検討していると回答。
- ・幼稚園就職に対する家族の反応は93.7%の9割以上が賛成と回答。ただ、0.5%の学生が賛成していないと回答。
- ・就職活動の時期として大学では、4年生前期が65.1%と過半数以上の回答である。2番目に多い回答として全体22.1%の2割の学生が3年生前期と回答。後の時期はいずれも全体の1割未満となった。また短期大学は2年生前期が回答の5割専門学校では一番多いのが3年生前期の38%。次いで2年生前期が29.6%。

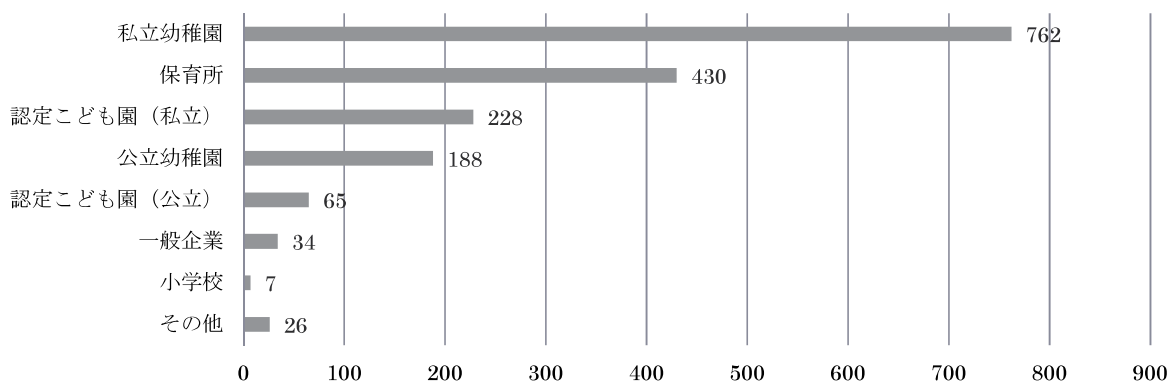
東京都私立幼稚園連合会  
幼稚園フェア参加者アンケート報告書

表・2

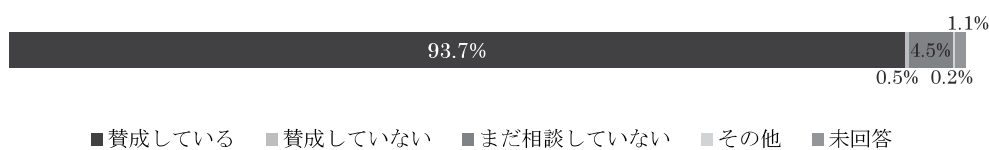




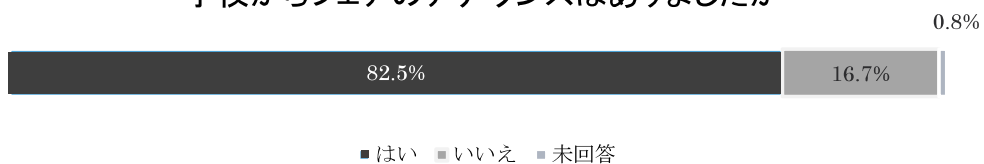
### 希望就職先について(複数回答)



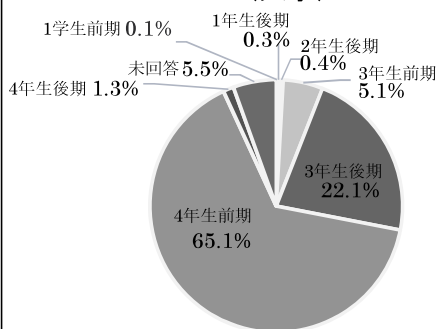
### 幼稚園就職に対する家族の反応について



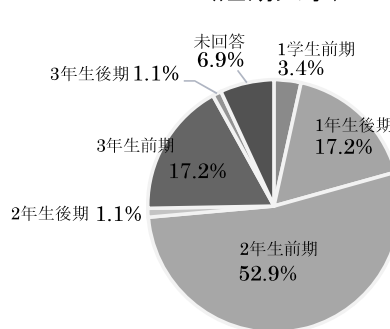
### 学校からフェアのアナウンスはありましたか



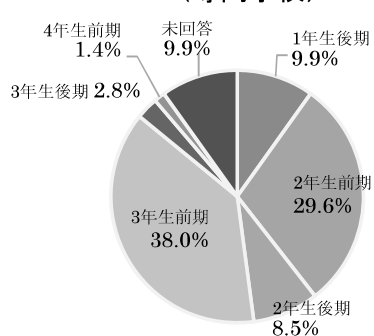
### 就職活動の開始時期について(大学)



### 就職活動の開始時期について(短期大学)



### 就職活動の開始時期について(専門学校)



平成29年4月23日実施  
アンケート総数 838件

### 3-2. 幼稚園就職のための冊子作成

幼稚園就職のための冊子（フリーペーパー）の作成にあたり、第1回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会において行われた「養成校担当者との交流のまとめ」を中心に検証を行い、どのような内容や構成が学生に私立幼稚園の魅力を伝えることができるか検証を行った。

養成校担当者との意見交換から、私立幼稚園は保育所に比べて、就職のハードルが高いという認識があったことからそのイメージを改善すること、ミスマッチを防ぐための園見学の推奨、履歴書の記入において留意すること、採用試験の具体的な内容など、ポイントを絞り込むことが必要と考えた。さらに、実際の現場の声を届けるために、現職の幼稚園教諭が会談を行い、幼稚園教諭という仕事のやりがいや、本音を発信することが企画された。また、東京都私立幼稚園連合会の加盟園を一覧化し掲載することで勤務候補地の把握につながると考えた。

人材確保調査研究実行委員会において論議を重ね、これらの内容構成を進めていくと、幼稚園教諭や保育士を目指す学生向けの求人にも多くのノウハウを持つ、人材採用サポート企業との連携が必要となった。委員会で調査を行った結果、各養成校に就職者向けフリーペーパー「ココキャリ note」の配布実績を持つ、株式会社キャリアフィールドに協力を得て、私立幼稚園の人材確保につながる冊子の作成を図ることになった。

### 3-3. 第2回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会でのアンケート分析

平成30年2月1日私学会館にて行われた第2回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会は養成校43校（60名）、幼稚園76園（76名）の参加があった。

なお、参加養成校の内訳として大学23校（33名）、短期大学11校（12名）専門学校10校（15名）であり、全体で136名が参加する交流会となった。

#### 養成校アンケート結果（回答数46校）

##### ①学生が就職活動を終了する時期について

11月：23% 12月：62% 1月：10%

##### ②就職活動時期の変化について

早くなっている：30% 変化無し：60% 遅くなっている：10%

##### ③就職者の内定先について（ア～オ 合計4820人）

ア. 私立幼稚園及び認定こども園へ就職する学生数  
合計1604名（33%）

イ. 公立幼稚園及び認定こども園へ就職する学生数  
合計54名（1%）

ウ. 保育所へ就職する学生数  
合計2,323名（48%）

エ. その他保育関係へ就職する学生数  
合計216名（5%）

オ. 一般企業へ就職する学生数  
合計623名（13%）

#### 幼稚園アンケート結果（回答数 31 園）

- ①今年度の採用人数  
合計 110 名（31 園）
- ②そのうち幼稚園フェアからの採用率  
30 名（27%）
- ③教育実習生の応募はあったか  
応募あり：50% 応募なし：50%
- ④第 1 回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会で採用に繋がるきっかけはあったか  
あり：45%      なし：35%      交流会に参加していなかった：20%

養成校の回答を見ると幼稚園ではなく、保育所への就職人数が圧倒的に多いという結果であり、改めて幼稚園の採用難が浮き彫りとなった。また就職活動を開始する時期が例年より早くなっていると回答した養成校が 30%、変化なしと回答した養成校が 60%であったが、幼稚園アンケートの自由記述欄には年々採用が早くなっているという回答も散見された。これも保育所の採用が幼稚園に比較して早い時期に行われているため、それに対抗せざるをえず、引っ張られるような形で結果として早まってしまっていると考えられる。

なお、合同就職説明会（幼稚園フェア）及び第 1 回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会から採用につながったというアンケート結果が出ており、イベントの継続及び拡大を要望する記述も見られ、連合会の活動として一定の成果が得られたと思われる。

#### 3-4. W e b 活用における調査

急速に進んでいるスマートフォンの普及により、自宅にパソコンがない学生でも気軽にインターネット上の情報へアクセスできるようになった。むしろパソコンを使ってまでアクセスする必要がない、スマートフォン対応の W e b サイトがスタンダードになっている。就職活動においても、「マイナビ」や「リクナビ」といった就職情報サイトの利用をする学生も多く存在していることから、本連合会でも W e b 活用から就職者に対し情報を発信するとともに以下の調査内容を行うことにした。また、W e b 活用の事業を進めるにあたり、「シナジーマーケティング株式会社」を再委託先として調査研究を行うことにした。この企業を再委託先に選んだ理由として、規模を問わず多種多業種 3,000 件以上の企業マーケティング活動を支援している実績があること。調査分析、施策立案、運用、効果測定および改善提案まで包括的にサポートする体制が整っていること。Yahoo! JAPAN の 100% 子会社として、Yahoo! JAPAN がもつ日本最大級のビッグデータを活用できることに加えて、W e b 広告やメルマガ配信に関するノウハウも蓄積があること、配信メールが迷惑メールになりにくいという強みもあることが挙げられる。

（調査項目）

- ①幼稚園教諭の魅力と就職情報を配信する W e b ページ（ランディングページ）を設定し、W e b 広告を掲出して興味や関心を持った学生を同 W e b ページへ誘導する。
- ② W e b ページ上で、幼稚園教諭の魅力と就職情報配信のメルマガジン登録を受け付け、

登録者に対して適宜メールマガジンを配信する。

③イベント等の申し込みフォームを設置し、Web上から申し込みを受け付ける。

調査項目①では、Web広告によってどれだけの学生が広告をクリックして当該Webページを訪れるかを集計。保育士ブームの中、「幼稚園の先生」という選択肢があることの認知拡大を図る。

調査項目②では、Webページ上で具体的なイメージ（画像等）を示しながら幼稚園教諭という仕事の意義や魅力を伝え、幼稚園就職へ興味や関心を持ってメールマガジン配信を希望する人数を集計する。

調査項目③では、Webページの閲覧やメールマガジンの配信等を経て、どれだけの学生が当該Web上でイベントの申し込みをするのかを集計する。

Web広告については、主要検索エンジンであるグーグルとヤフーにおいて、主に検索ワードに応じて表示されるリスティング広告を掲出。検索ワードの例は以下の通り

+幼稚園 +先生 +なるには	+幼稚園 +就職 +説明会	+幼稚園 +求人情報
+幼稚園 +先生 +仕事	+幼稚園 +就職 +関東	+幼稚園 +求人 +東京
+幼稚園 +情報	+幼稚園 +就職	+幼稚園 +求人 +関東
+幼稚園 +就職 +東京	+幼稚園 +教諭	+幼稚園 +求人

\* 「幼稚園」の部分で「こども園」、「保育園」等にした組み合わせでも掲出。

## 第4章 結果の考察

### 4-1. 合同就職説明会（幼稚園フェア）における成果と課題

インターネットやSNSなどから幼稚園フェアを把握した学生は全体の1割と、当たり前スマートフォンで情報を取る世代であるにも関わらず、数字としては低い結果となった。しかし、就職活動に対してリクナビやマイナビといった大手就職活動サイトを利用する学生は全体の約5割。現段階では学生課を利用する数字に対して比較すると多くはないものの、ここ数年の活発な動きを考えると、今後これらのサイトが精力的に拡大してくることが予想でき、活用する学生の数は今後飛躍的に増えてくるのではないかと考えられる。これに対しては全日本私立幼稚園連合会での運営がはじまった幼稚園就職サイトなどを最大限活用し、私立幼稚園就職の際のスタンダードのサイトとなるべく、今後私立幼稚園全体で仕掛けていくことが効果的であると考えられる。併せて、Webを活用した情報発信を行い、多数の学生に発信していくためにはどのような方法が考えられるのか引き続き、検討を行うことにする。

就職後一人暮らしを希望する学生（現在既に行っている学生含む）が約3割となった。未定の学生が4割ということも考えるとかなりの学生が一人暮らしを希望していると判断できる。そのような状況に対し、保育所等で出される借り上げ補助の制度を考えると、補助の出ない私立幼稚園としては非常に厳しい状況である。

参加者の半数は現在、東京都外に在住していることを考えると、都外から東京都への就職を希望している学生が多数いることが分かる。これは待遇面などで東京は良いということが影響していると予想できる。

合同就職説明会（幼稚園フェア）の開催時期に関して、どの学校種もおおよそ最終学年前期での活動開始が過半数を占めるのではないかと分析でき、フェアの開催時期としては参加者のみを考えると妥当であると考えられる。ただ、その学校種においても入学後すぐになんらかの就職活動を始めるという学生も少なくないことが分かる。大学に入ってから活動を始めようとする学生に対して継続的に効果的なアピールが求められる。在学中にも長期的に私立幼稚園へのイメージアップができるような取り組みも効果的ではないかと考えられる。

希望就職先としては私立幼稚園が7割強という数字だが、次いで保育所が4割を超える回答となっていることから、現段階でまだ検討中の学生が多いことが分かる。株式会社運営の保育所などは5、6月に大規模な採用活動を展開しそこで採用に至ってしまうことから、幼稚園フェアを4月開催というタイミングで実施し、しっかりと私立幼稚園の魅力を発信し、つないでいくことが必要である。

幼稚園への就職に関して9割以上のご家庭が賛成していただいているが、0.5%のご家庭が賛成していないという回答であった。この部分に関しては、なぜこのような賛成できないのか、現在の幼稚園の悪い噂や現状を慎重に分析し、ゼロ回答を目指し、改善できる部分に関しては私立幼稚園全体に働きかけていく必要がある。

「幼稚園フェアをどこで知ったか」「就職活動にどんな媒体を利用するか」の回答から

分かる通り、幼稚園業界の就職活動には学校の就職課、キャリアセンターを利用している学生が他の媒体と比べても圧倒的に多いことが分かる。このことから私立幼稚園の就職率を高めるためには、まずは従来からのやり方ある各養成校の就職課、キャリアセンターに対してしっかりと私立幼稚園としての魅力を告知し、私立幼稚園の魅力を最大限アピールする（してもらう）仕組み作りが重要であることが分かる。さらには、就職課を通していかに合同就職説明会（幼稚園フェア）への参加や私立幼稚園の魅力を発信できるかということに課題を置き、対策を検討することが効果的である。以上のことから、各養成校への幼稚園就職の魅力を発信するための「幼稚園就職のための冊子配布」が効果的な施策であるとも考えられる。今後、就職課に対してより多くの学生が内容に興味を持ち、読んでくれるような内容の吟味、仕組み作りが就職率アップには効果的であると考えられる。また、「養成校担当者との交流」を定期的に行い、幼稚園教諭を目指す学生の変化や幼稚園に求められる姿などについて意見交換をすることが求められる。

#### 4-2. 第1回幼稚園教諭養成校と私立幼稚園との交流会における意見交換会のまとめ

参加養成校 59 校 71 名の先生から共通項目を中心に学生の動向・意向等について意見抽出を行うとともに項目ごとに整理を行った。

##### 1. 学生の就職動向と幼稚園と保育所の就職に対するイメージ

###### ①就職全般について

- ・学校種によって異なるが、保育所に就職する傾向が増えている。
- ・幼稚園を志望する学生は意志があり、それに向かって就職先を決めている場合が多いが、保育所に就職先を決めた学生は、色々と迷った後、保育所に決める場合が多い。
- ・入学時の志望動機が就職にまで影響することがある（保護者の意向と同調させる場合もある）。
- ・幼稚園か保育所を判断する上で、担任するクラスの人数の違いや、担任が1人か複数かの違いをポイントとすることがある。
- ・長く勤めたい学生は公立志向が多く、増加傾向にある。
- ・公立幼稚園は狭き門のため、公立保育所希望者が増加している。また、公立志望者は、留年しても臨時職員として仕事をしながら翌年公立試験を受けることがある。
- ・保育士を選ぶ学生は、ほとんどが公務員試験を受けており、公立志望が高いことが伺える。

###### 幼稚園

- ・幼稚園志望者は、成績で言うとオールラウンダーの学生が多い。
- ・1人でクラスをまとめてみたいと思う学生が多い。
- ・幼稚園を卒園した学生は、幼稚園に就職を希望する傾向がある。
- ・1人担任に対して、責任の重さ、保護者への対応等に躊躇している学生がいる。

###### 保育所

- ・乳児が好きな学生は保育所を希望する傾向がある。
- ・保育所出身の学生は、保育所を希望する傾向がある。
- ・幼稚園実習で厳しい経験をした学生は保育所希望に移っていくことがある。

## ②求人について

### 幼稚園

- ・ 9月から10月にかけて、求人票を受け取っているが、求人の始まる時期が遅い。
- ・ 幼稚園求人票が来てから2週間ほどで試験ということもあり、スケジュールがタイトな気がする。

### 保育所

- ・ 就職時期は保育所が圧倒的に早いのも影響があり、早く決めたい学生も多い（決まらない不安を早く取り除きたい）という学生が保育所を希望している。
- ・ 保育所には、大きな園や小規模園、企業内保育所など選択肢の幅がある。
- ・ 企業系保育所は求人が早い。早く安心感を得たいことから前期中に決める学生もいる。
- ・ 企業系保育所には、採用コンサルのような会社が間に入っているケースがある。
- ・ 株式会社の運営する保育所に就職される方は給料面を気にするようである。
- ・ 専門学校に入る学生は、経済的に厳しい学生もおり、保育所の処遇改善や家賃補助が行われている現状から、保育所を希望する学生が増えつつある。

## ③職務・仕事内容について

### 幼稚園

- ・ 仕事量が多く、責任も重いイメージがある。
- ・ 勤務時間が長く、業務が多い（持ち帰って仕事をするイメージ）。
- ・ シフト性ではなく、割り切れず、サービス残業がある。

### 保育所

- ・ 保育所は0歳からなので、その子の成長に長く関われる。
- ・ 保育所は預かるというイメージがある。
- ・ 保育所は複数担当。

## ④その他

- ・ 男性の場合、将来家庭を持って生計の維持が可能な経済基盤のある企業系保育所を希望する傾向がある。
- ・ 奨学金を利用している学生も多くいるので、就職後の生活を考えると幼稚園の賃金では生活が困難になる。

## 2. 実習を終えての学生の変化

- ・ 実習を終えて、改めて幼稚園の良さがわかって、就職を希望する学生もいる。
- ・ 実際に働いている先輩を見て、憧れを持ち就職を考えることがある。
- ・ よい体験ができて帰ってくると実習園に就職する傾向がある。
- ・ 実習中に就職が決まるケースもある。
- ・ 厳しい指導をされてくると、一般企業などに進む学生がいる。
- ・ 先生方が保育をしている様子を見て、その力量をすごいと思い自信をなくす学生がいる。
- ・ 職員室の雰囲気や教職員同士の会話で就職先を考えてしまう学生もいる。
- ・ 学生は教員同士の人間関係をよく見ていて、自分にはなじめないと思う学生もいる。また、実習中に職員に実習園の悪口を聞かされ不安になった学生もいる。
- ・ 幼稚園実習が先にあるので、どうしても大変というイメージが付きやすい。
- ・ はじめから幼稚園または保育所と決めている学生もいるが、大半は実習を行った時の印